

「地域のつながりと可能性を伸ばす 小商いの苗床『市場・マルシェ』の 起業支援とネットワーク構築プロジェクト」 について

平成28年2月22日

おかやまマルシェ起業支援協議会

1. 事業実施地域の課題(1)

(岡山県の特徴)

県南部に位置する岡山市と倉敷市に約119万人が居住し、県の人口の約62%が集中しており、中北部の多くの市町村は過疎化・高齢化が進んでいる。

県内27市町村中20市町村が過疎地域に指定(一部指定を含む)されている。

(岡山市の課題)

- ・観光、商業振興資源の分立。連携不足。
- ・新しく魅力的な観光振興コンテンツの枯渇。

(中山間地域の課題)

- ・顧客、販路、担い手の不足。
- ・ビジネスモデルをブラッシュアップ(顧客や同業者との直接的な対話・交流)する機会の不足。

岡山市内各所で開催されているマルシェや朝市などのネットワークを構築して広範囲かつ長期的な観光資源としての魅力を創出・向上・発信するとともに主に中山間地域を拠点とした小規模事業者の創業や採算性向上の苗床としてマルシェや朝市を活用した新たなビジネスモデルを提案します。

1. 事業実施地域の課題(2)

企画の経緯について

2013年度	2014年度	2015年度
<p>コミュニティ・ビジネス支援を通じて起業および採算性向上の難しさを実感していた。特に中山間地域においては産業の創出・雇用の維持がコミュニティ維持のための最優先テーマとなっていた。</p>	<p>県内10のマルシェ、朝市の参加による交流会を開催。多くの市民にマルシェや朝市が「コミュニティ・ビジネスの苗床」「観光資源」となる可能性を示す。同時に各マルシェ主催者よりネットワーク構築による相乗効果を期待する声が寄せられた。</p>	<p>岡山市内で新しいマルシェの発足に向けた動きが見られはじめる。岡山市中心市街地への大型ショッピングモールの出店、自治体による社会実験(歩行者天国)の実施、翌年度に控えた大型観光キャンペーン、市民会館の移設先の検討など、「まち」の理想像や生かしかたに対する岡山市民の関心・関与が高まっている。</p>



2. 事業概要

(1) 事業の実施体制1

① 協議会メンバーと役割分担

構成主体	役割(中間支援の内容)
NPO法人みんなの集落研究所	調査、ヒアリング、イベント運営などのコンサルティング
NPO法人岡山NPOセンター	事務・実務の効率化支援
岡山市(産業振興・雇用推進課)	新規創業に関する相談支援と関係機関とのマッチング
日本政策金融公庫岡山支店	資金調達に関する相談対応と融資

② 担い手の概要及び取組内容

担い手	これまでの活動内容	本事業で新たに取り組む内容
KAMP	商店街でのゲストハウス運営	商店街での新規マルシェの実施

③ その他の主体の取組内容

委託事業者	これまでの活動内容	本事業で新たに取り組む内容
株式会社いち	マルシェの実施	・新規マルシェの運営支援 ・ネットワークとデータベースの構築

2. 事業概要

(1) 事業の実施体制2

担い手について

KAMP

(西奉還町武士マルシェ寄合)

KAMPはJR岡山駅の西口すぐ「奉還町商店街」のなかほどの路地裏にあるビルをリノベーションしてつくられたゲストハウスである。国内外を問わず各地を旅するバックパッカーが気軽に立ち寄り、集える場として認知が高まりつつあり、現在は利用者の7割以上が外国人観光客となっている。本事業では同じ奉還町商店街の若手事業主が集まり「西奉還町武士マルシェ寄合」が結成され、ともにマルシェの運営に携わった。



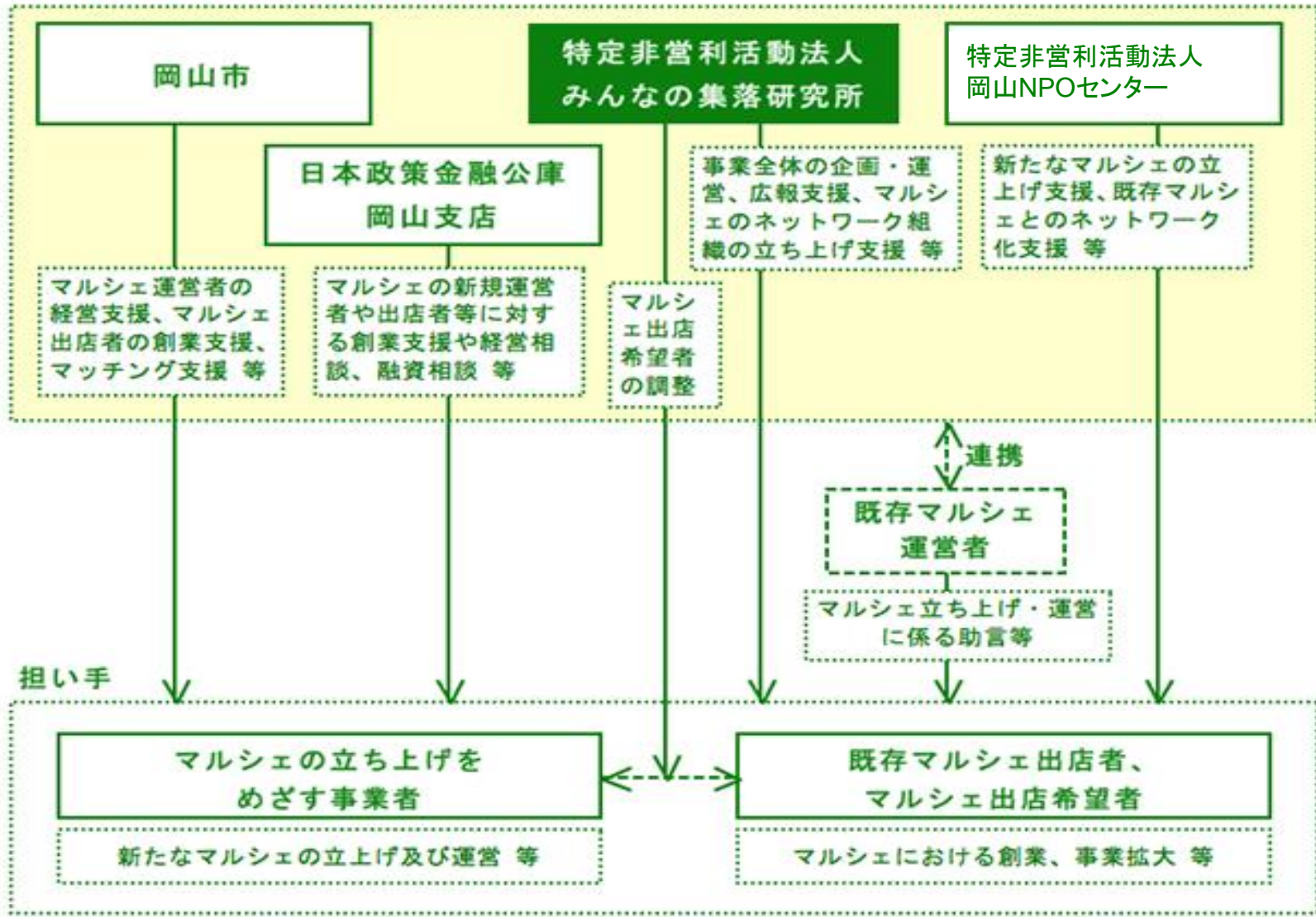
← 休日の奉還町商店街
KAMPの外観 →



2. 事業概要

(2) 事業のスキーム

おokayamaマルシェ起業支援協議会



3. 各取組の概要

取組1：既存マルシェの効果と有効性検証 (取組内容1)

- ・ネットワーク構築に先立ち、既存マルシェの現状調査を行った。
- ・調査結果は協議会で整理したのち、各マルシェで共有した。
- ・それぞれの課題や長所が把握されたことで、以後、戦略的な観光振興策を検討していく。
- ・それぞれが有する資源を共有するための情報基盤(データベース)の作成につなげた。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
NPO法人みんなの集落研究所	調査全般のコンサルティング
NPO法人岡山NPOセンター	事務・実務の支援

委託事業者	役割
株式会社いち	岡山市内各マルシェへのヒアリング調査

3. 各取組の概要

取組1：既存マルシェの効果と有効性検証 (成果と課題)

- ・各マルシェの概要(コンセプト、出店条件など)が明らかになった。今後、情報の分析と共有を深め、来年度以降は各マルシェの特色をより明確に打ち出し(差別化を図り)、効率的な集客やキャンペーンを展開していく予定である。
- ・各マルシェの課題や必要とされている支援が明らかになった。特に「安定的な出店数の確保」や「担い手の育成」が各マルシェに共通する緊急度・重要度の高い課題であるため、ネットワークの構築(資源の共有)により比較的早い段階での状況改善を図りたい。一方で運営資金の調達や自治体との連携促進については、継続的な検討と働きかけが必要となるため、新規に発足するネットワーク組織を通じて「合同キャンペーンの実施」や「行政への政策提言」を企画していきたい。

◎成果目標

成果目標	年度当初	目標	達成状況
マルシェの現状把握	マルシェの情報がない	現状や課題を明らかにする	既存マルシェへの調査が完了
連携基盤の確立	連携の必要性や可能性が不明瞭である	データベースの構築	2月末に基盤完成予定

3. 各取組の概要

取組2: 既存マルシェ及び出店事業者の経営支援 (取組内容)

・協議会構成主体の得意分野を生かして、既存マルシェ及び地域おこし協力隊などの出店事業者に対して研修や情報提供を行い、それぞれの採算性向上や商品開発の方法について学ぶ機会を提供した。研修には複数の地元メディア関係者を招いて、発信力のある商品開発と効果的な宣伝方法について学び、「価格」「品質」だけでなく説得力のある「文脈」を備えた商品をつくり、宣伝していくことが必要であることを共有した。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
NPO法人みんなの集落研究所	経営全般に関するコンサルティング
NPO法人岡山NPOセンター	事務・実務の支援
岡山市(産業振興・雇用推進課)	制度活用、許認可申請に関する情報提供など
日本政策金融公庫岡山支店	資金調達(融資など)に関する情報提供など

委託事業者	役割(中間支援の内容)
株式会社いち	マルシェ起業者へのハンズオン支援

3. 各取組の概要

取組2: 既存マルシェ及び出店事業者の経営支援 (成果と課題)

- ・「取組1」の調査を通じて既存マルシェが抱える課題が明らかになったため、以後、関係機関(協議会構成員含む)への効果的なコーディネートにつなげていくことができる。
- ・中山間地域での商品開発に取り組む「地域おこし協力隊」及び「協力隊経験者」を対象とした研修会・交流会を開催した。結果、協議会構成主体の「日本政策金融公庫岡山支店」への融資相談が2件生まれており、継続的に商品開発を支援していく予定である。
- ・各マルシェの採算性向上や出店事業者のマーケティング支援については、いずれも目に見える改善には至っていないが、支援に対する一定のニーズが把握できたため、今後も継続的に専門家との交流機会を設け、活用を促進していく予定である。

◎成果目標

成果目標	年度当初	目標	達成状況
支援ノウハウの確立	ニーズが把握できていない	・支援ニーズの把握 ・関係機関との接点創出	・支援ニーズが把握できた ・関係機関との接点と支援事例を創出できた

3. 各取組の概要

取組3:新規マルシェの立ち上げ支援 (取組内容)

・岡山駅西口に位置する「奉還町商店街」にあるゲストハウス「KAMP」をはじめとする商店街の店舗事業主を中心とした新規マルシェの立ち上げを支援した。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
NPO法人みんなの集落研究所	事業運営の支援
NPO法人岡山NPOセンター	文書作成、会議運営などの実務支援
岡山市(産業振興・雇用推進課)	制度活用、許認可申請に関する情報提供など
日本政策金融公庫岡山支店	資金調達(融資など)に関する情報提供など

事業委託者	役割(中間支援の内容)
株式会社いち	マルシェの開催・運営に関するハンズオン支援

3. 各取組の概要

取組3:新規マルシェの立ち上げ支援 (成果と課題1)

- ・新規マルシェとして2016年2月20日(土)に「西奉還町武士マルシェ」を開催した。
- ・委託事業者とともに企画時点から関わり、コンセプトの決定、商店街との交渉、広報、出店事業者の調整など、計10回を超える会議を重ね、スムーズなマルシェの開催に導くことができた。
- ・「西奉還町武士マルシェ」は次年度以降の定期的な開催を予定している。

◎成果目標

成果目標	年度当初	目標	達成状況
観光コンテンツとなる 新規マルシェの創出	マルシェの実施 ノウハウがない	ハンズオン支援を通じた 新規マルシェの実施/1件以上	新規マルシェの実施/1件
	実績なし	来客数200名以上	来客数/約400名
中山間地域の事業者の 販路開拓	実績なし	中山間地域からの出店数/5店以上	中山間地域出店数/5店

3. 各取組の概要

取組3:新規マルシェの立ち上げ支援 (成果と課題2)

中山間地域からの出店者

店舗名	出店内容/地域
備前やきいも	焼いも/備前市三国地区
下山さんちのお茶	ほうじ茶/美作市海田
ことり食堂	米、餅、焼き菓子/新庄村
かぴぱらこーひー	コーヒー/真庭市勝山
QUCHI	なぎビーフ/奈義町

3. 各取組の概要

取組3:新規マルシェの立ち上げ支援 (成果と課題3)



3. 各取組の概要

取組3:新規マルシェの立ち上げ支援 (成果と課題4)



地元メディア(新聞)での紹介記事。
(左)開催前々日
(右)開催翌日
当日はラジオ1社、テレビ2社の取材を受けた。

3. 各取組の概要

取組4：データベースの構築 (取組内容)

- ・「取組1」で調査した既存マルシェの概要を整理してデータベース化した。
- ・各マルシェや地域おこし協力隊からの情報提供に基づき、出店事業者の商品や連絡先を整理してデータベース化した。
- ・データベースの活用による各マルシェの連携と戦略的なキャンペーンを促していく。
- ・各マルシェのコンセプトに合った出店事業者の選定・交渉の効率化に寄与していく。
- ・各出店事業者へ岡山市内で開催されるマルシェの情報を提供して、販路の拡大や他の事業者の情報収集に寄与していく。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
NPO法人みんなの集落研究所	情報収集とデータベースの内容検討
NPO法人岡山NPOセンター	データベースの仕様検討と受託事業者の選定

3. 各取組の概要

取組4：データベースの構築 (成果と課題1)

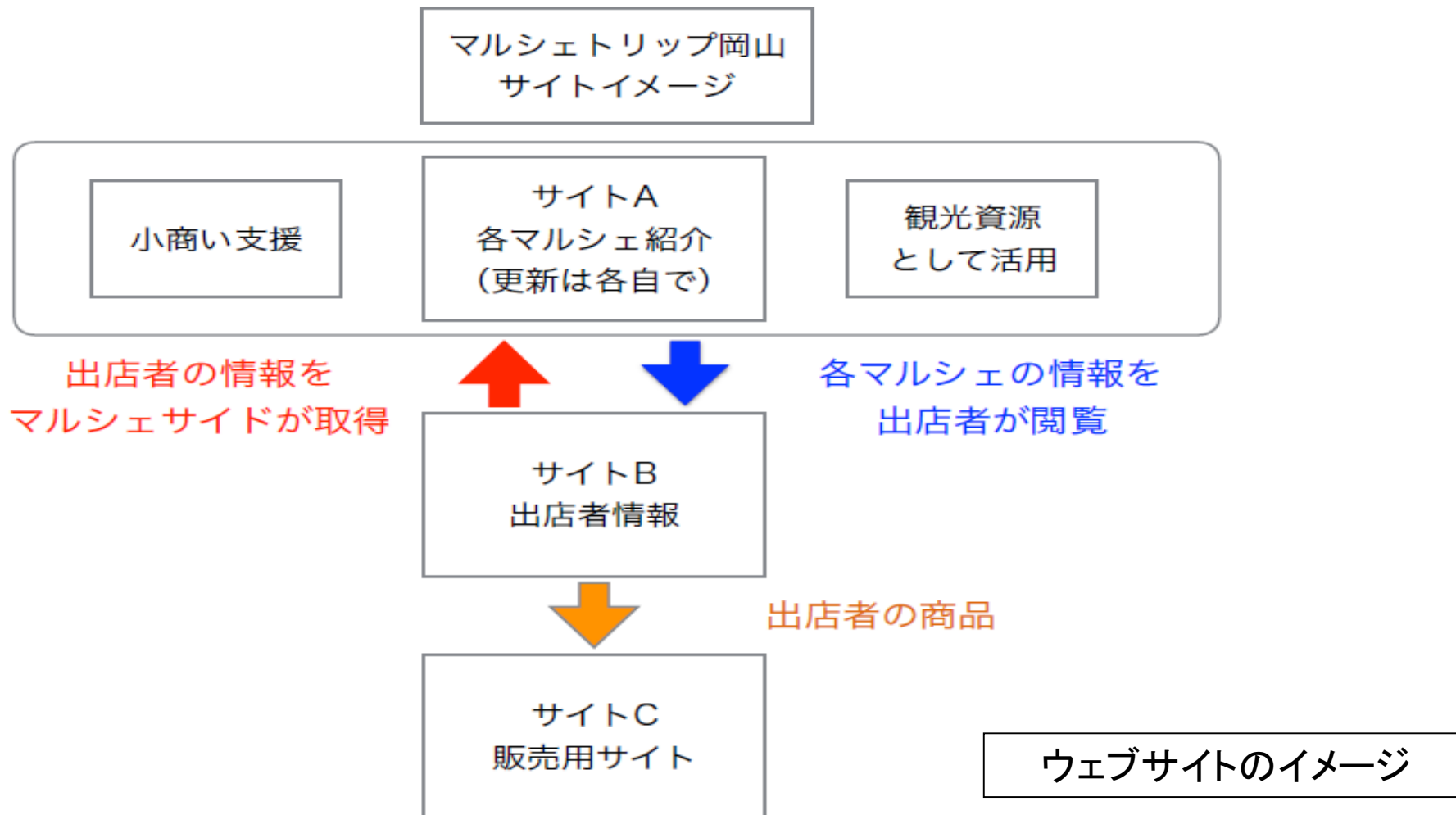
- ・2016年2月29日に完成予定。
- ・現時点では情報の内容・量ともに十分ではないが、データベース構築後も継続的に情報を更新していく。
- ・「観光紹介」、「出店者情報」、「販売サイト」の3つの要素が連動したウェブサイトも同時(2月29日まで)に作成しており、観光振興ツールとして不特定多数に公開する。
- ・今後のデータベース及びウェブサイトの運用にはネットワークの会費を充当する。

◎成果目標

成果目標	年度当初	目標	達成状況
マルシェと出店事業者による効率的・効果的なマッチング	情報がない	マルシェと出店事業者に向けたデータベースの創出	2月29日完成
観光客に向けたマルシェ情報の発信	情報が一元化されていない	マルシェの魅力を伝え、観光を促すウェブサイトの創出	2月29日完成

3. 各取組の概要

取組4: データベースの構築 (成果と課題2)



3. 各取組の概要

取組4: データベースの構築 (成果と課題3)

コンセプト紹介ページ(現在作成中)

マルシェトリップ 岡山

地域の食文化や生活文化を楽しむマルシェは、色々な場所で様々な方たちの想いや目的によって集まり作られています。

そんなマルシェはどれもとても個性的で、来る人を楽しませてくれます。

マルシェが数多くある岡山の観光資源としてご紹介するサイトを立ち上げ、県内、県外の人が週末の時間の過ごし方を提案します。



3. 各取組の概要

取組5: マルシェ協会の発足 (取組内容)

- ・岡山市内で展開される各マルシェ・朝市を構成員としたネットワーク組織を結成した。
- ・相互の連携による資源の共有やキャンペーンの展開に限らず、協議会(本事業)の各取組を引き継いで、継続的に「観光振興」と「コミュニティビジネスの苗床」としてマルシェを成長させていく。
- ・将来的には岡山市内に限らず、県内全域にネットワークを拡げ、さらに多面的な観光振興プランを提案していく。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
NPO法人みんなの集落研究所	利害関係者の調整や中長期計画策定の支援
NPO法人岡山NPOセンター	記念式典の開催や規約作成などの実務支援
岡山市(産業振興・雇用推進課)	行政と連携した観光振興キャンペーンの支援
日本政策金融公庫岡山支店	関係機関(商工会など)と連携した安定的な運営の支援

3. 各取組の概要

取組5: マルシェ協会の発足 (成果と課題)

- ・設立記念式には行政の観光担当課や岡山市内のホテル事業者組合にも参加を依頼しており、今後の連携の足がかりとする。
- ・キャンペーンは2014年12月に岡山市内中心部で開業した大型ショッピング施設「イオンモール岡山」にて開催する。買い物客に協会の発足やマルシェの魅力を発信するだけでなく、マルシェと商業施設が連携した「面的な観光・商業振興」として、意義と可能性を発信する。
- ・当協議会のネットワーク機能(情報基盤含む)は「マルシェ協会」に引き継ぎつつ、経営や資金調達に関する支援は協議会が継続的に担っていく。

◎成果目標

成果目標	年度当初	目標	達成状況
「観光振興」と「地域ビジネスの苗床」としてのマルシェの可能性を普及する	マルシェの意義が一般の店舗にない商品を購入できる場としてのみ認識されている	マルシェ協会の発足	2月29日に発足

3. 各取組の概要

②広報に関する取組1

(担い手の活動に関する広報)

取組内容	効果・課題など
岡山県内の大学に在学する学生デザイナーの協力を得て事業のイメージ(フライヤー)を作成。	デザインのインパクトは大きく、フェイスブック等のソーシャルネットワークを中心に各所から問合せが寄せられた。
岡山市のウェブサイトに掲載。	単なるイベント情報ではなく住民自身による地域振興の取り組みとして岡山市のウェブサイトに「西奉還町武士マルシェ」が掲載される予定。 (公開日未定)
地元新聞での紹介	報告書作成時点では未掲載(取材対応済)。

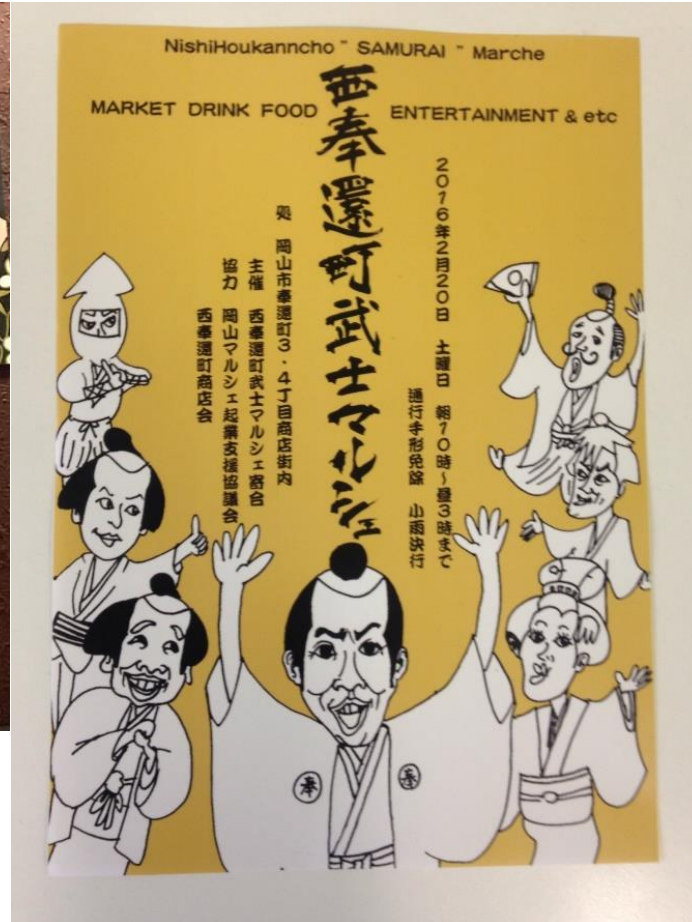
(中間支援体制に関する広報)

新たに発足する「協会」との混同を避けるため現時点では積極的な情報発信は行っていない。

3. 各取組の概要

②広報に関する取組2

「西奉還町武士マルシェ」のイメージ全般を担った大学生デザイナー下村海さんと作品



4. 中間支援における課題と対応

(1) 体制として連携することにより達成できたこと

協議会の構成主体が持つ実績が担い手や関係者に信頼感・安心感を与えていた。

岡山市の仲介により、岡山市観光コンベンション協会との連携がとても円滑に進んだことや日本政策金融公庫(岡山支店)に対して、商品開発時の設備投資に関する相談が寄せられたことが例として挙げられる。また、同公庫が新たに発足させた空き家の利活用とUIターン促進の事業にNPO法人岡山NPOセンターが加盟するなど、多方面での連携が促進されている。

(2) 苦労・留意した点

セキュリティの問題から基本的な情報共有は電子メールと電話、または会議のみとなり、情報共有の速度と正確さは、チャットやファイル共有などのウェブツールの使用時より劣っていたと思われる。

ただし、事業開始当初に大きな方向性・認識の共有に時間をかけていたことからすべての案件において全構成員の合意を得る必要はなく、各主体が迅速な意思決定と実行を実現しつつ、相互の認識の齟齬の発生を抑制できたと思われる。

5. 事業終了後の予定

来年度以降は情報基盤の運営などは新たに発足するネットワーク組織に引き継ぎつつ協議会ではひきつづき、それぞれの得意分野に応じた支援を展開していきます。

- ・NPO法人みんなの集落研究所・・・中山間地域の事業者に関する情報提供
- ・NPO法人岡山NPOセンター・・・事務の効率化に関する支援
- ・岡山市・・・創業相談への対応、観光振興施策との連動
- ・日本政策金融公庫岡山支店・・・資金調達(融資など)に関する支援

期間	今年度	平成28年度	平成29年度
主な事業展開	おかやまマルシェ協会の発足とデータベースの構築。	協議会及び協会により既存マルシェの運営強化と新規立ち上げ支援を継続展開。同時に「ディスティネーションキャンペーン」の開催に合わせて地域内でのマルシェの普及を図る。	マルシェのネットワークを県内全域に拡大して、ネットワーク組織としての基盤強化を図るとともにマルシェを文化として定着させるため新たなマーケットと流通の確立を目指す。
資金案	国交省(補助)	会費(自主財源) 岡山県(補助)	会費(自主財源)